

令和7年度（2025年度）くまもとの笑顔・未来を創る児童生徒表彰結果について

1 特別賞

※表彰状と楯、図書カード、くまモンピンバッジ、くまモンファイルを授与

番号	学 校 名	学年・氏名等	善行内容	内容詳細
1	南関町立南関中学校	3年 永清 花	社会奉仕活動	毎月曜と木曜の挨拶運動に率先して取り組み、全校生徒に参加を呼びかけ学校の雰囲気を明るくしている。独居老人への暑中見舞いや小学校クラブ活動の世話、地域祭りのボランティアなど地域社会にも積極的に貢献。
2	合志市立西合志中学校	2年 平田 紫帆 2年 濱田 千咲	社会奉仕活動	ボランティアに興味を持ち、令和7年4月より朝や放課後を利用し、学校・学校周辺の清掃、花壇除草、掲示物作成などに自主的・継続的に取り組んでいる。その活動は周囲の生徒に広がりを見せ、また左利き用ハサミを考案し発明工夫展示会で金賞を受賞するなど顕著な創意工夫も見られる。
3	八代市立龍峯小学校	6年 山田 創介	社会奉仕活動	令和7年8月の大雨被害に際し、学校の状況を心配し土砂のかき出しや清掃活動などの復旧作業に自主的に取り組んだ。また、社会福祉協議会のボランティア募集に参加し、地域住民宅の復旧作業を一日行い、ボランティア先の家庭から感動と感謝の手紙が届くなど、貢献度の高さが評価された。
4	苇北町立都呂々小学校	6年 太田 知里	社会奉仕活動	令和7年8月から9月にかけての3日間、社会福祉協議会が斡旋した災害ボランティア活動に自ら参加。天草市有明町楠甫地区を中心に、被災者のために室内清掃、片付け、土砂除き等の活動を精力的に行った。この善行は他の児童の模範となつた。
5	南小国町立南小国中学校	3年 穴井 うみ 3年 穴井 なつ	社会福祉活動	長期休業中に実施される町の子育て支援事業「子どもデイサービス事業」のボランティア活動に、2名の生徒が積極的に参加。午前8時半から午後5時半までの長時間、小学3年生までの約30名の児童のお世話を精力的に取り組み、周囲から感謝された。
6	玉東町立玉東中学校	玉東町立玉東中学校	地域貢献活動	令和7年8月10日の豪雨により町中央公民館が被災した際、生徒たちは復旧作業に自発的に参加。地域の一日も早い復旧を願い、土砂の撤去や水没した物品の回収・整理などに真摯に取り組み、地域住民との温かな交流を生み出し、地域社会の絆を深めた。
7	錦町立一武小学校	6年 富森 雄一朗 6年 豊永 隆人 6年 橋口 聖七 6年 鈴木 大翔 6年 小嶋 桜馬 6年 武田 獅斗 6年 赤池 大翔	人命救助	道の駅付近で倒れて痙攣している中学生を発見した児童7名が、役割分担して連携し迅速に対応。一部の児童が近くの大人に伝えに行くとともに、道の駅の管理者に救急車の要請を依頼した。迅速な連携行動により中学生は病院へ搬送され、保護者から適切な処置をとったことを感謝された。
8	あさぎり町立あさぎり中学校 水上村立水上學園 剣道部	3年 野尻 悠真 3年 池田 聖士朗 2年 児玉 美夢 2年 米来 春風 1年 松坂 龍真 1年 早川 枫馬 1年 岩永 涼 7年 植葉 武蔵	人命救助	剣道部の活動中に指導者が突然倒れた際、部員8名が連携して迅速に初期対応を実施。防具を外し、職員を呼ぶ、119番通報、心肺蘇生の補助など役割分担し行動した。駆けつけた職員による救命処置の結果、指導者は数日後に意識を回復した。
9	熊本県立熊本北高等学校	2年 藪下 陽花	地域貢献活動	週に1回程度、地域の高齢者福祉施設を訪問し、施設利用者の話し相手として交流をしたり、施設の窓拭きなどを行ったりしている。その他にも、長期休業中には夏祭りの運営補助をするなどボランティア活動へ積極的に参加している。
10	熊本県立翔陽高等学校	3年 岩根 悠人	人命救助	7月末、JR新水前寺駅にて年配の女性が倒れられた。そこに居合わせた生徒が、すぐに救急車の手配をし、空調が効いた部屋までその方を抱えて移動させた。JR新水前寺駅は高架路線にある駅のため要救助者の場所が分からぬ可能性を考え、1階まで降り、救急隊を呼びに行く等の人命救助を行った。

令和7年度（2025年度）くまもとの笑顔・未来を創る児童生徒表彰結果について

2 入賞

※表彰状、くまモンピンバッジ、くまモンファイルを授与

番号	学 校 名	学年・氏名等	善行内容	内容詳細
1	和水町立菊水小学校	菊水小学校全学年・全児童	社会奉仕活動	開校以来6年間、前身校時代から20年超続く伝統的な活動「朝ボラ」に全児童が毎日継続して取り組んでいる。登校後の10分間に運動場の整備や草取り、雨天時は室内清掃を行い、学校の環境美化に貢献し、奉仕の心等を育んでいる。
2	菊池市立花房小学校	花房小学校全校児童	社会奉仕活動	平成27年より農家や地域の方の協力のもと、全児童で米作りを実施。手植え・手刈りを通じ昔ながらの米作りを体験し、収穫した米は独居老人へ贈呈、マリ共和国へ支援米として送り、地域貢献と国際貢献に役立てている。
3	八代市立太田郷小学校	6年 福田 羽菜	社会奉仕活動	小学校1年生時に保護犬を引き取ったことを機に、保健所職員の手伝いを申し出た。現在まで毎週末90分程度、保護犬の散歩を長期間継続している。低学年時は清掃、中学生からは散歩を任せられ、動物愛護活動に熱意をもって取り組んでいる。
4	八代市立第六中学校	第六中学校生徒会	社会奉仕活動	令和6年12月の新生徒会発足以来、生徒自らの考案で、主体的なボランティア活動を定期的に実施。活動内容は挨拶運動、落ち葉掃き、近隣のゴミ拾いなどで、本年度途中から地域の方々も参加し、活動が地域に広がり、地域住民との交流も深まっている。
5	上天草市立阿村小学校	全校児童	社会奉仕活動	2年前の職業講話で海の環境悪化を知った児童が、きれいな海を取り戻したいと強く思い、昨年から「ビーチクリーニング大作戦」を企画。全校児童が参加し、保護者、水族館、地域の方々にも呼びかけ、阿村地区全体での活動に広げ、地域を大切にする気持ちを深めた。
6	熊本市立麻生田小学校	4年 加々見 律花	社会奉仕活動	昨年度から毎日欠かさず登校時に地域のゴミ拾いを自発的に継続。ゴミの記録・分析を行い、重点的な清掃に繋げるなど創意工夫も見られる。その模範的な行動は他学年児童の自主的なゴミ拾いを促し、学校全体に良い影響を与えている。また、休日には地震の被災地でのボランティア活動にも積極的に参加している。
7	大津町立大津中学校	1年 佐藤 有希子 1年 椎葉 凛花 1年 武藤 瑞花 1年 西 紗奈 2年 木戸 七菜 2年 杉本 佳歩 2年 草野 いろは 2年 江藤 愛渚 3年 後藤 晴佳 3年 森 勇翔 3年 藤本 千春 3年 古庄 彪哉	社会福祉活動	夏季休業中に町内の社会福祉施設のボランティア活動に生徒12名が自ら積極的に参加。施設利用者との交流、清掃、行事手伝いなど多岐にわたり、福祉への理解を深めた。この体験をきっかけに継続的な交流を希望する生徒も見られ、学校と地域とのつながりを深める貴重な機会となつた。
8	多良木町立多良木中学校	1年 池田 琉乃	社会福祉活動	親戚の病気がきっかけで、病気やけがで髪を失った子どものためのヘアドネーション活動を開始。令和7年4月1日に1年以上伸ばした髪（31cm以上）を寄付し、今回が2回目となった。この活動により、免田ライオンズクラブより表彰を受けている。
9	多良木町立多良木中学校	2年 稲葉 咲良	社会福祉活動	小学校2年生の時、ヘアドネーションを知り、「自分の髪で子どもたちが笑顔になればいい」との思いから活動を開始。令和7年6月15日に1年以上伸ばした髪（31cm以上）を寄付し、今回が2回目となった。人吉新聞に掲載され、人吉ライオンズクラブより表彰を受けるなど評価されている。
10	玉名市立玉陵小学校玉名市立玉陵中学校	玉陵小・中学校全校児童生徒	地域貢献活動	熊本地震等を経て「地域を明るくしたい」という生徒会の意向から、小中合同で地域貢献活動を継続。花苗寄贈（フラワープロジェクト、6年目）や地域清掃（スクールボランティア、15年目）を長期的・定期的に実施。新玉名駅の来訪者から感謝のメッセージが寄せられるなど、地域との絆を深めている。
11	南阿蘇村立白水小学校	白水小学校4～6年児童	地域貢献活動	学校統合により地域住民との触れ合いが減少した状況を受け、児童の発案で交流会を提案。令和7年6月20日、旧小学校区に分かれて地域住民とフルーツ白玉づくりを実施し、一緒に調理・会食を行った。交流を通じて地域住民から防犯上の利点を評価された。
12	南阿蘇村立白水小学校	6年 田上 向日葵	地域貢献活動	毎朝登校を見守ってくれる地域見守り隊の磯崎さんに感謝の気持ちを伝えるため、修学旅行のお土産のカステラを自ら購入。修学旅行後、登校時に感謝の言葉とともに直接渡した。磯崎さんから学校へ「とてもうれしかった」と報告があり、当該児童の思いやりの行動が地域の方に喜びを与えた。
13	八代市立郡築小学校	6年生有志	地域貢献活動	昨年度から継続して毎日登校後すぐに、学校横の神社の落ち葉掃きや運動場の草取りなどを主体的に実施。その主体的な姿勢は下級生にも広がりを見せ、また神社を訪れた地域の方々への気持ちの良い挨拶も行き、地域の方々から賞賛されている。
14	氷川町立竜北東小学校	全校児童	地域貢献活動	氷川町梨マラソン大会に向け、平成30年から毎年、全校児童が主体となって応援活動を継続的に実施。学校運営協議会委員と協力し、応援うちわや看板を作成し、子どもたちの「地域を応援したい」という思いを届け、大会を盛り上げ、学校と地域のつながりを深めている。
15	氷川町立宮原小学校	5・6年生児童	地域貢献活動	令和7年5月上旬に、PTAや地域の方々の協力を得て、5・6年生児童が校内茶畠で茶摘み体験を実施。摘み取った茶葉の活用法を児童が意見聴取し、町内の給食や学習ボランティアへ提供。感謝の言葉を通じて活動の充実感を味わい、次なる活動への意欲に繋がった。
16	上天草市立教良木小学校	全校児童	地域貢献活動	9年前から続く伝統として、全児童が登校時に「ゴミを拾いながら登校」や「あいさつ運動」などに自主的に取り組んでいる。活動は地域にも広がり、地域住民も参加。「いも栽培」や「米づくり」等の体験活動を地域の方と一緒にを行い、交流を通じて笑顔があふれる活動となっている。
17	玉名市立横島小学校	全学年児童 215名	伝統文化の継承	江戸時代から続く干拓事業の歴史を語り継ぐ伝統的な踊り「湯舟い節」の伝承活動に取り組んでいる。運動会前には地域の保存会から指導を受け、3・4年生が披露。また、伝統を後世に残すため、本年度から毎月曜日の放課後に「ふるさと教室」を開き、保存会が中心となり指導している。
18	菊池市立花房小学校	花房小学校3・4・5・6年	伝統文化の継承	平成17年より地域の保存会指導のもと、伝統芸能「出田の獅子舞」の伝承活動に取り組んでいる。5・6年生が3・4年生へ舞、太鼓、笛を伝承し、伝統芸能祭りや花房フェスタで発表。地域の秋祭りにも参加し祭りを盛り上げるなど、ほぼ児童主体で伝統を過去・現在・未来へと継承している。

番号	学 校 名	学年・氏名等	善行内容	内容詳細
19	菊池市立旭志中学校	旭志中学校 3年全員	伝統文化の継承	3年生全員が総合的な学習の時間で「ふるさと再発見」に取り組み、地域の伝統文化（岩本神楽、円通寺太鼓など）を地域の方の直接指導のもと学んでいる。半年間の準備・練習を経て学習発表会で成果を披露。地域に元気を与える、学校と地域のつながりが深まる一大イベントとして定着している。
20	八代市立植柳小学校	1年 吉田 さと 2年 翁 真音 2年 桑原 一浩 3年 吉田 穂希 6年 安齋 里結菜 6年 岩田 美唯	伝統文化の継承	国選定無形民俗文化財「植柳盆踊り」の「こども口説き手」に児童6名が申し込み挑戦。夏休み中に保存会や保護者と共に難しい口説き唄を練習し、ふるさと祭りなどで披露。途絶えていた盆踊りが復活・進化し、地域住民に大きな喜びをもたらし、伝統文化の継承に貢献した。
21	苇北町立苇北中学校	苇北町「地域未来塾（天領太鼓）」	伝統文化の継承	苇北町の「地域未来塾（天領太鼓）」事業として、生徒20名が毎週水曜日の放課後に保存会から直接指導を受け、和太鼓演奏に取り組んでいる。今年度はハチカン巡礼団訪問を含む多くの地域イベントに出演し、伝統文化の継承と地域の教育力向上に貢献している。
22	荒尾市立桜山小学校	6年 中村 勇哉	高齢者等支援	習い事の帰り道、認知症の高齢女性が道に立ち止まり、家が分からなくなつたのを目指し、助けを求めているように感じ、そばに寄り話を聞いた。近くの地域の方に警察への連絡を求め、警察到着までの30分間、車道に出ないよう安全確保などに努め、付き添い続けた。後日、地域の民生委員から学校へ感謝の連絡があった。
23	人吉市立第一中学校	2年 片山 芹菜 2年 尾方 瑠都	高齢者等支援	帰宅途中、手押し車の高齢女性に道を尋ねられ、会話の中で女性が認知症かもしれないを感じながらも、丁寧に会話を続けた。その後、通りがかった小学校教諭に状況を説明して女性を引き渡し、女性は無事に家族に引き渡された。
24	宇城市立松橋小学校	6年 澤田 りこ 4年 澤田 あこ 1年 澤田 大和	人命救助	入学式の帰り道、顔から出血して道に倒れていたおじいさんを発見。自宅に戻りティッシュを持って手当をし、話を聞いた父親がおじいさんを病院へ連れて行ったが、その後娘さんに連絡を取り、自宅まで送り届けた。
25	八代市立八千把小学校	4年 谷澤 潤	人命救助	帰宅途中、アパートの階段の横で倒れているおじいさんを発見。おじいさんが立てない様子を見て、どうにか助けなければと考え、近くの会社で仕事をしていた人たちに助けを求めて行った。いち早く助けを呼んだ行動が、おじいさんが無事に部屋に帰ることができ、人命救助につながった。
26	熊本市立河内小学校	6年 潮崎 海音 4年 潮崎 海心 4年 村上 桜菜 4年 宮本 瑞	人命救助	6月3日夕方、近所で顔から出血して倒れていたご老人（認知症を患う）を児童4名が発見。命の危険を察知し、たまたま通りかかった女性に119番通報をお願いし救助。早めの連絡と迅速な対応により、大事に至らずに済んだ。
27	熊本市立竜南中学校	2年 萩田 大輝 2年 米田 陽音 1年 宮崎 遼一	人命救助	令和7年1月26日、帰宅途中に道路に倒れていた男性を発見した生徒3名が、脱水状態の男性に対し、自分たちの水筒の水や塩分補給のタブレットを与えて介抱。迅速かつ適切な対応で救急搬送に繋げた。
28	長洲町立腹赤小学校	腹赤小学校児童会（5・6年生児童）	その他	児童会の発案に基づき、自主的な地域清掃活動「腹赤クリーンウォーク」を計画・実施。また、「地域合同防災教室」では、学校を核に児童・保護者・地域が一体となり防災について共に考え、避難所の設営等を体験。連携を深めることで、防災時の人一人一人の役割意識を醸成する貴重な機会となっている。
29	菊池市立花房小学校	5年 本多 咲夢	その他	令和7年9月下旬、道端で衰弱した子猫（野良猫）を発見し、親猫が亡くなっていることを知った。飼い主が見つからなかつたため、自分が責任をもって育てる決意。猫アレルギーの兄がいる家族を、手紙を書くなどして粘り強く説得し飼育を認められ、子猫の命を救った。
30	八代市立第二中学校	2年 中村 実桜	その他	4月後半、下校中に、小学生の女兒が足を気にしているのが見えた。女兒は足をけがしていた。女兒に絆創膏を渡し、女兒はもらった絆創膏を貼り、お礼を言って帰宅した。後日感謝の手紙が届いた。
31	熊本市立力合中学校	1年 首藤 彩来 1年 中村 美結	その他	6月25日夕方、南区島町公園で怪我をした小学生児童を発見した女子生徒2名が、お小遣いで絆創膏を購入し、児童の怪我の手当をした。お互いに面識はないが自ら進んで介抱した。その優しく温かい行動について、目撃した地域の女性から学校に感謝の連絡があった。
32	熊本県立ゆうあい中学校	2年 中山 弘樹 2年 中山 貴文	社会奉仕活動	SDGsの17の目標のうち、「目標11 住み続けられるまちづくり」「目標12 つくる責任、つかう責任」を達成すべく、自発的な校舎周辺の美化活動をきっかけに、活動範囲を隣接する高等学校の敷地内から校区へと広げながら活動を続けている。
33	熊本県立北稜高等学校	2年 上野 佑月	地域貢献活動	母と姉の影響を受け、中学2年次に防災士の資格を取得し、防災士アドバイザーとして、現在まで活動を継続している。アドバイザーとなつてからは、防災に関するイベントや交流会に招待され、様々な活動を行うとともに意見交換も活発に行っている。
34	熊本県立大津高等学校	2年 斎藤 宥 2年 大村 一心 2年 満原 斗愛 2年 向吉 翼 2年 村本 韶 2年 菅谷 康介	高齢者等支援	県高校総体決勝応援のため、えがお健康スタジアムに向かっていた際、コンビニエンスストア前の道路で転倒していた高齢者がいた。近くに通りがかった女性が男性へ声をかけていたが、女性一人では抱えることができなかつたため、助けた。その後、男性の両肩を支えながら家まで送り届けた。
35	熊本県立熊本北高等学校	1年 河崎 晓大 1年 園田 悠真 1年 波佐間 公輔	初期消火活動	建物火災において、現場付近を友人と帰宅中に火災を発見し、火災現場にいた消防団員1名と協力し、近くの消火栓から消防ホースを使用した初期消火活動を行い、周囲の建物等への延焼を防ぎ、被害が最小限に抑えられた。
36	熊本県立熊本北高等学校	3年 城 咲和奈	人命救助	自宅付近で親戚とともにバーベキューをしていたところ、近所で一般建物火災を発見。119番通報を行うとともに、火災現場にいた住人を訪ねて避難させた。一緒にいた大人達とともに協力し、近隣の家々のドアをたたいて火事発生を知らせて避難を促した。
37	熊本県立天草工業高等学校	3年 福用 大都	人命救助	魚釣りを行った際、堤防から転落し救助を求める釣り人の声を聞き付け、持っていた釣具（タモ網）を使い、近くに居合わせた大人たちと共に転落した釣り人を引き上げ救助した。